

きののすく よりだ

心ではぐくむ、健康と笑顔の樹。

VOL.
19

2013年
11月発刊



トピックス

- 高性能CT日本海側初の導入
- パリの国際学会で発表してきました
- 「患者さん満足度調査」について
- 資格取得者の声
- 私たちの職場
- 夏祭り開催
- 新任自己紹介

写真／栄養管理科 舘盛朋子(撮影場所／富山市内の公園)

生活の質の向上、そして健康寿命の延伸のために。

人工関節センター 開設のお知らせ



社会福祉法人 済生会支部
富山県済生会

富山県済生会富山病院
<http://www.saiseikai-toyama.jp/> hospital@saiseikai-toyama.jp

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
地域医療連携室
TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131



日本医療機能評価機構

人工関節センター開設のお知らせ 整形外科主任部長・人工関節センター部長 藤井秀人

済生会富山病院は市内の中では病院の規模は大きくはないものの、これまで蓄積してきた人工関節手術の経験と、1)院内で看護師、リハビリ部門、事務部門を含めた人工関節チーム医療の体制の整備(後に説明するRapid Recovery Program)、2)先進医療【実物大の臓器立体モデルによる手術支援】の実施、を2本の柱として、人工関節センターを開設しました。

1) Rapid recovery program(ラピッドリカバリープログラム)について

患者さんが一日も早く日常生活に戻るために、外来看護師による入院前後の説明、リハビリテーション科でのホームプログラムの指導と住宅状況の把握、医事課入院係から高額医療制度の説明などを行います。入院時には患者さんの状態はある程度病棟スタッフが把握しており、術後のリハビリが順調に進んで早期の機能回復が得られます。

Rapid Recovery Programに関わるメンバー



リハビリスタッフ



外来スタッフ

病棟スタッフ

2) 先進医療【実物大の臓器立体モデルによる手術支援】について

患部のCT画像を撮影した後、CTデータを元に作成した三次元画像を用いて、骨格の実物大立体モデルを作製し、手術のシミュレーションを行い、複雑な手術イメージをスタッフ間で共有・補完した上で手術に臨みます。

この技術を県内でいち早く導入し、7月に国の先進医療の認可を頂きました(認可は県内で2例目)。

当院ではこの費用を80,000円に設定しております。自己負担となりますが、ご加入の医療保険で先進医療特約のものであれば後に支払いが還付されます。(人工膝関節置換術の場合)

運動器の機能の衰えから介護状態になることの予防、生活の質の向上、健康寿命の延伸のために、人工関節チームが一丸となって患者さんをサポートします。

人工関節手術のことについては、お気軽に当院整形外科(人工関節センター)にお問い合わせ下さい。



患者さん専用のオーダーメイド模型 (大腿骨/脛骨)

当院ではCTを使用
※ MRIでは、関節軟骨全体が接触点となる



緑色の部分がジグの接触点
黒い数字が骨切り量

高性能CT日本海側初の導入 心臓病や脳卒中に威力!! 放射線技術科 科長 松井幹夫

この度、当院に最新の高性能な320列マルチスライスCTが導入されました。当院でCT装置が最初に導入されたのが、昭和52年、脳卒中センター開設と共に、県内でもいち早く稼働を始めました。当時は1回転が3分、頭全体を検査するのに20分程要していました。平成17年には、県内で初めての64列マルチスライスCTを導入しました。そして、今回も県内初の320列マルチスライスCTの導入です。64列CTでは、32mm幅を1回転0.4秒で、そして320列CTでは、160mm幅を1回転最短0.275秒となり、飛躍的に性能が向上しました。その中で、最も有用とされるのが、心臓冠動脈検査と脳血流検査です。心臓や頭が1回転で撮影可能となり、きめ細かな鮮明な画像か



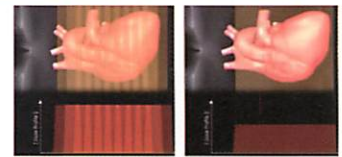
ら、診断能を飛躍的に向上させました。もちろん、胸やお腹など全身の検査も超短時間で検査が可能です。また息止め時間の短縮や被ばく低減等、患者さんの負担が大幅に軽減されます。お子様など、じっとしてられない方などにも大変、有用となりました。

当院では、24時間体制で320列CTを稼働し、優秀なスタッフも揃っています。冠動脈疾患の早期発見や急性期脳卒中の診断効率の向上により、早期治療が可能となります。

特に救急医療に、大変活躍するものと思われます。

また、病診連携にて高性能機器の共同利用も可能ですので、お気軽にご相談下さい。

64列CTと320列CTの撮影比較



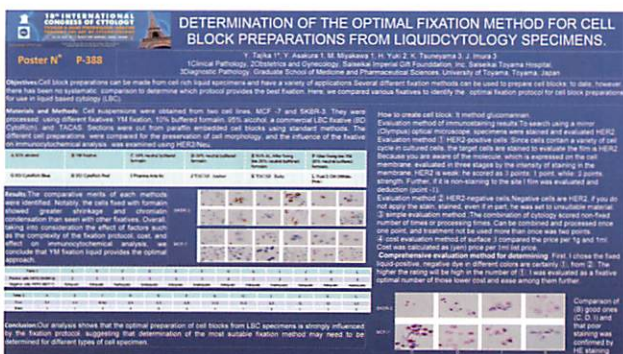
検出器列数	64列	320列
検出器幅	~40mm	160mm
スキャン方式	ヘリカル	ノンヘリカル
収集データ	5~20 心拍	1~3 心拍
X線オーバーラップ	80%	0
被ばく	10~16.4mSv	2mSv以下
造影剤量	60ml~100ml	40ml程度

パリの国際学会で発表してきました

病理検査科 主任 田近洋介

私は病理検査科で国際細胞検査士として、主に細胞診検査業務に従事しております。細胞診は、がんの検診や精査に行われる検査で、近年病理検査の中でも重要性の増している領域です。我々医療従事者は、診断に苦慮する症例や稀な症例、年々高度になる医療技術に対応するため学会での聴講や発表を通して、最新の知識を診療に活かすために、研鑽していかなければなりません。今回、最新技術である液状細胞診の固定液に関する研究を行い、「DETERMINATION OF THE OPTIMAL FIXATION METHOD FOR CELL BLOCK PREPARATIONS FROM LIQUID CYTOLOGY SPECIMENS」の演題を、国際細胞学会が開催されたパリにて発表して参

りました。今回は欧州細胞学会と国際学会の合同集会で、日本からも多数の先生方が参加しておりましたが、やはり大半は欧州の方々でした。発表は英文で行い、複数の質疑もあり盛況のうちに終わる事ができました。他にCYTOTECNOLOGISTS SESSION.COMPANION MEETINGなど、まさに世界的に活躍されている先生方の講演を受講して来ました。最新の知識を得ることができ、また自身も世界に発信する事が出来た事は良い経験となりました。稿を終えるに当たり、御教示頂きました富山大学大学院病理診断学講座井村穰二教授、常山幸一准教授、ならびに快く送り出して頂きました院長はじめ職場の同僚に深謝致します。



英語で発表してきました!!

「患者さん満足度調査」について

医療向上推進委員会 診療部長 清水 哲朗

当院は、「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」を病院理念とし、患者さんやご家族にとって満足度の高い医療サービスの提供を心がけております。このため、今後のサービスの改善を図ることを目的に、定期的に患者さんの満足度を調査しております。このたび、今年度調査の結果がまとまりましたので報告させていただきます。

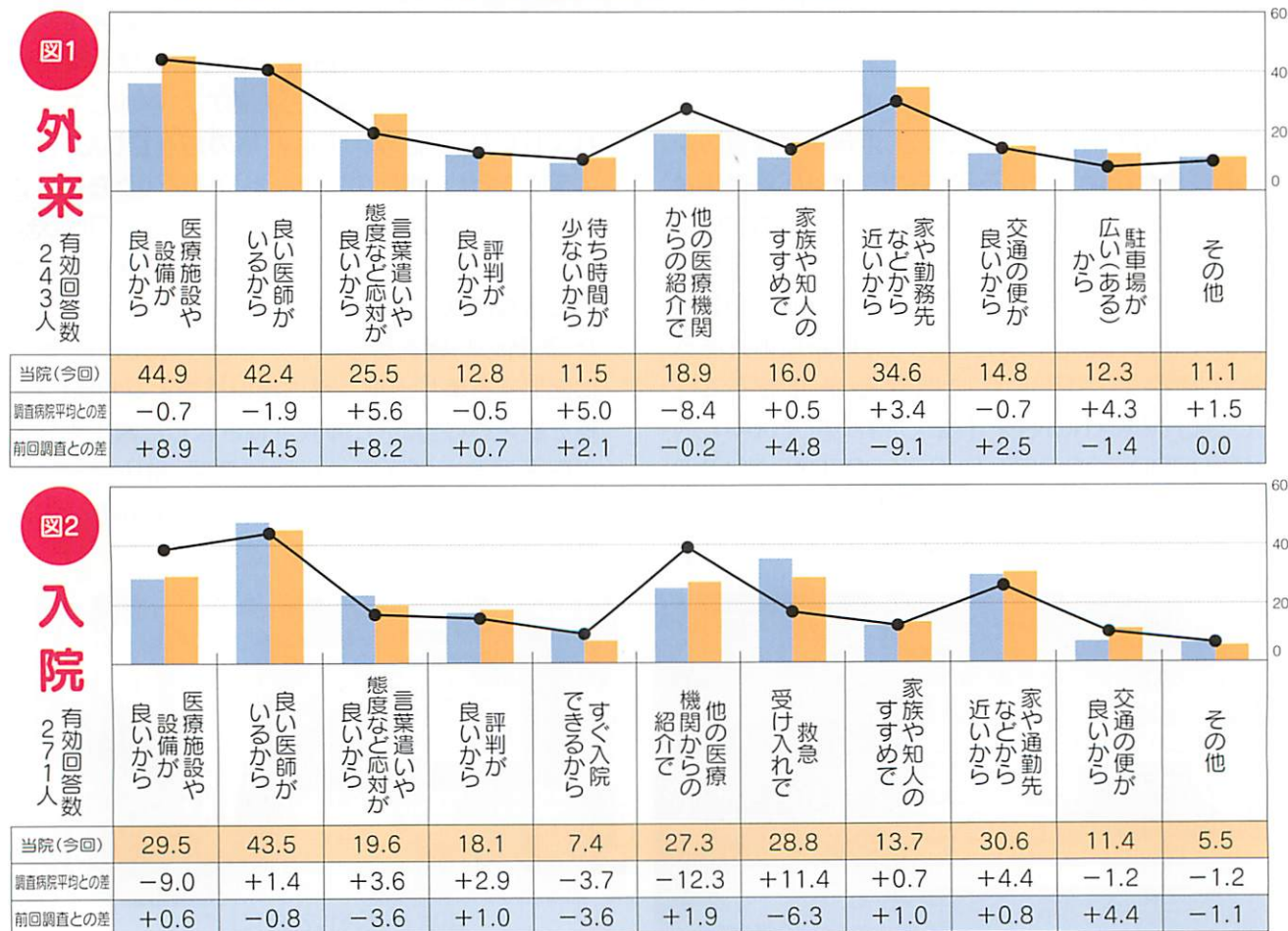
調査は、外来は1日、入院は1ヶ月間、アンケート用紙を配布し、ご回答いただいた結果を、外部機関が集計し、当院の前年および他の調査病院の結果と比較検討致しました。

●当院を選択いただいた理由について

外来部門(図1)では、「医療施設や設備が良いから」、「良い医師がいるから」が40%以上の回答をいただきました。また、「言葉使いや態度など対応が良いから」も前年度より高評価をいただきました。一方、他の医療機関からの紹介は、他の調査病院より低い傾向がありました。当院では、地域の医療機関との連携を最重要課題のひとつとして取り組んでおりますが、一段の努力が必要と思われれます。

入院部門(図2)では、「良い医師がいるから」が最も多く、医師にとりましてうれしい結果です。他の病院との比較では、当院の特徴である「救急受け入れ」が多く、一方で、外来同様「他の医療機関からの紹介」が少ない結果でした。

単位 % (複数回答) 凡例 当院(前回) 当院(今回) 調査病院平均との差



●患者さん満足度のインデックス評価

患者さんの満足度を5段階で回答いただき、外来(図3-1~3)、入院(図4-1~4)でそれぞれ100点満点の点数評価をしました。

外来部門

凡 例 非常に満足 満足 どちらともいえない やや不満 不満 (%)

*インデックスは、非常に満足(100点)、満足(75点)、どちらともいえない(50点)、やや不満(25点)、不満(0点)の合計点

図3-1 施設面

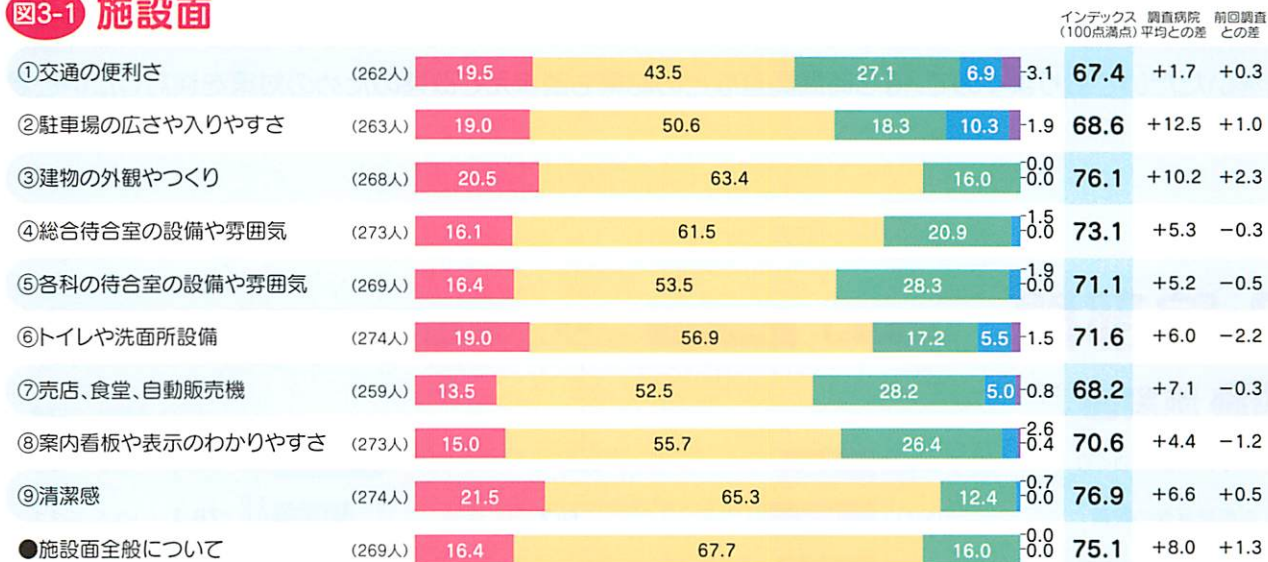


図3-2 接遇面

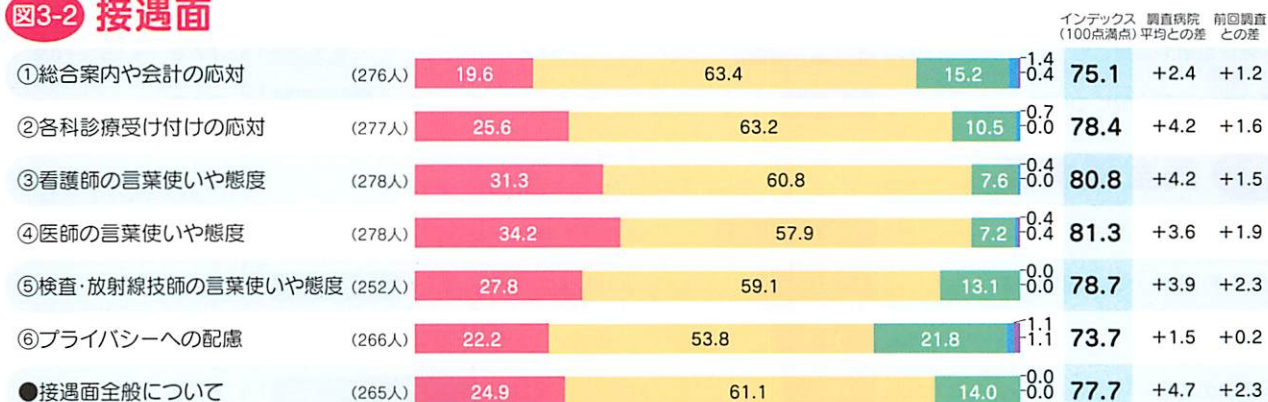
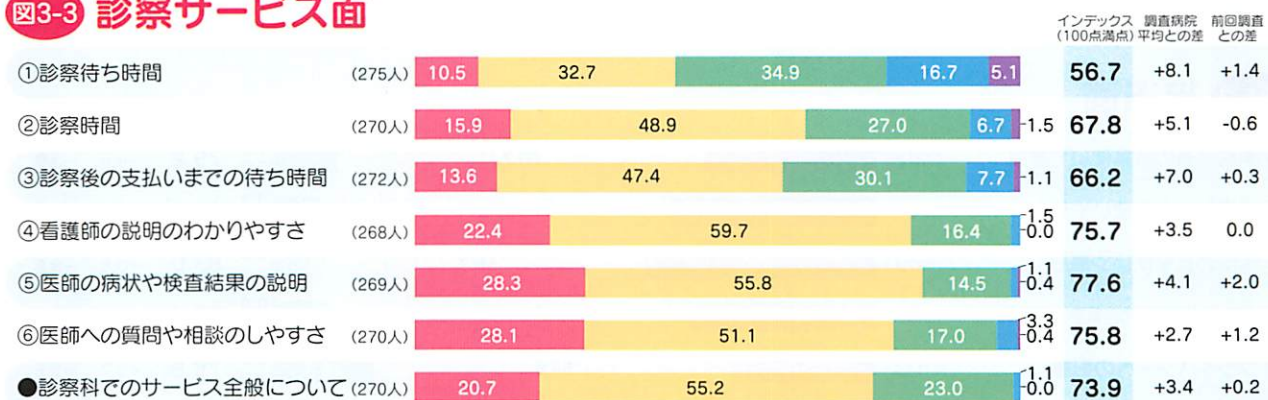


図3-3 診察サービス面



【外来部門】

施設面では、「施設面全般について」で84.1%の方から満足との評価をいただきました。他病院との比較でもすべての項目で平均を上回っていましたが、「トイレや洗面所設備」では前年度より2.2ポイント低下し、7%の方から不満とのご回答をいただいています。自由意見の中にも数件トイレに関するご意見をいただいていますので、今後改善課題として取り組む予定です。

接遇面では、他病院との比較でも、前年比較でも高評価をいただきましたが、自由意見の中には接遇面の改善を求めめるご意見がみられますので、参考にさせていただき改善を図ります。

診療サービス面では、他病院より高い評価をいただきましたが、待ち時間、診療時間でご不満とのご回答をいただいておりますので、待ち時間調査などの結果も踏まえて改善のための対策を検討したいと思います。

入院部門

凡 例 非常に満足 満足 どちらともいえない やや不満 不満 (%)

*インデックスは、非常に満足(100点)、満足(75点)、どちらともいえない(50点)、やや不満(25点)、不満(0点)の合計点

図4-1 施設面

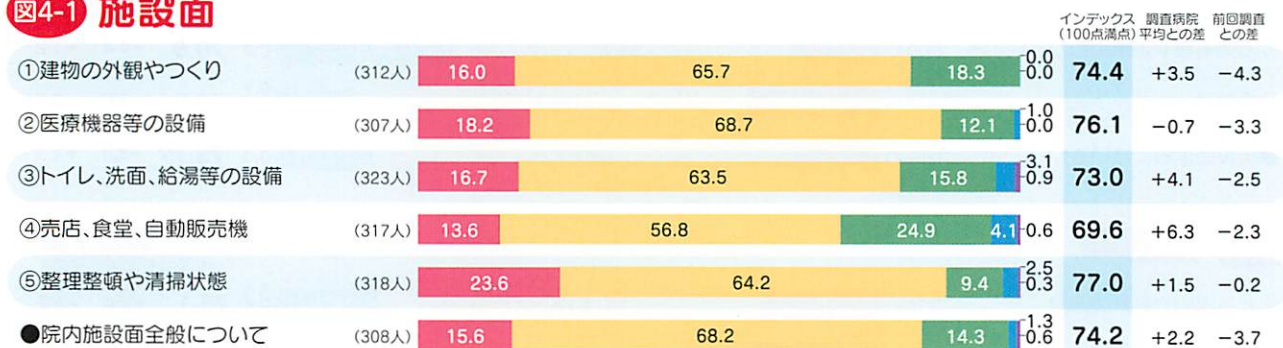


図4-2 病室環境面

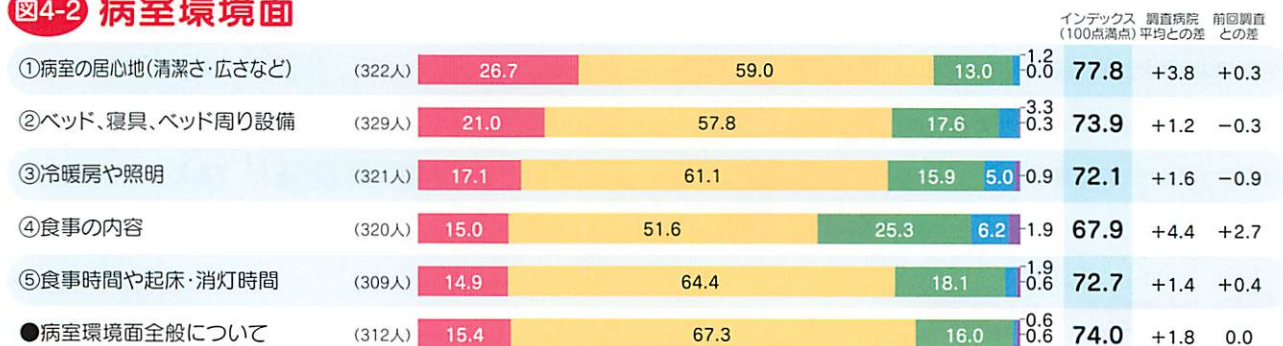


図4-3 接遇面

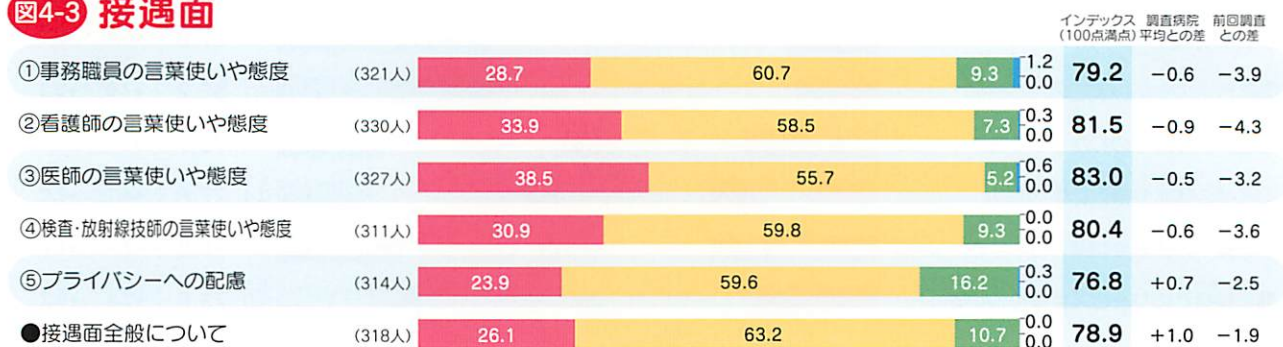


図4-4 診察サービス面

				インデックス (100点満点)	調査病院 平均との差	前回調査 との差
①看護師の説明のわかりやすさ (329人)	28.6	58.4	12.8	78.7	-1.2	-2.9
②看護師の採血や介助の手際よさ (326人)	25.5	63.2	9.8	78.1	-1.0	-2.3
③医師への質問や相談のしやすさ (328人)	31.4	56.7	11.0	79.6	+0.4	-2.3
④医師の病状や検査結果の説明 (326人)	34.0	56.1	8.6	80.6	+0.7	-1.0
⑤医師の病状に対する処置の適切さ (318人)	35.8	56.0	7.9	81.8	+1.0	-1.1
●診療サービス面全般について (318人)	28.3	61.0	10.4	79.3	+1.0	-0.5

【入院部門】

院内施設面では、おおむね他病院より良い評価をいただきましたが、「トイレ、洗面、給湯等の設備」および「売店、食堂、自動販売機」では多少不満との評価をいただいております。今回調査の自由意見や今後の皆様のご意見を参考に改善点を見出していきたくと思います。

病室環境面では、おおむね好評価をいただきましたが、「冷暖房や照明」、「食事の内容」で不満と答えられた方が少数ながらおられますのでさらなる努力を重ねて参ります。

接遇面では、不満と答えられた方はわずかでしたが、他病院とほとんど差が無く、いずれの項目でも満足度が前年より3~4ポイント低下しており職員の再教育等考慮していきます。

診療面では、看護師、医師ともにほとんど不満との回答はみられませんが、看護師の項目で他病院、前年いずれとの比較でもわずかながら満足度が低下しており課題として取り組みたいと思います。

●おわりに

全体満足度は、外来で89.9%、入院で94.1%の方が“満足”とのご評価をいただき、「知人等に当院を紹介や推薦したいと思いませんか」とお聞きしたところ、95%以上の方から「是非したい」または「まあしたい」とお返事いただきました。

以上より、今回の調査からはおおむね良いご評価をいただいているものの、いくつかの課題も浮き彫りにされてきましたので、今後、職員一同一丸となって、より満足度の高い病院を目指して努力して参りたいと思います。

調査にご協力いただきました皆様にここで深く感謝申し上げます。



資格 取得者 の声

摂食・嚥下障害看護認定看護師資格取得 食べることを応援

7階病棟 看護師 村川高明

私は、平成25年7月に摂食・嚥下障害看護認定看護師の資格を取得しました。当院で2人目になります。

嚥下障害とは「うまく食物が飲み込めない」ことを指します。人は、栄養を取らないと生きていくことができません。その栄養を取るのは、口からです。そして、口からの味覚によって「美味しさ」を脳で感じます。食事をおいしく食べる、楽しく食べることによって、人生の大きな楽しみになっています。食べることは、生きていくうえで、とても重要なことであると思います。摂食・嚥下障害が起こると、十分な栄養が摂れずに低栄養となったり、誤嚥性肺炎が問題になります。摂食・嚥下障害を引き起こす疾患は多数ありますが、脳血管障害・神経や筋疾患などが有名です。また、高齢者の肺炎のかなりの部分は、加齢による嚥下機能の低下による誤嚥性肺炎といわれ、高齢化社会の中

で、その対応が問題になっています。また、近年では、胃瘻の有無についても話題になっています。当院では、平成18年より摂食・嚥下サポートチームとして、医師を初め、専門の言語聴覚士・歯科衛生士や管理栄養士など多くの職種で、「口から食べること」の支援を行っております。その一員として少しでも役にたてるように頑張っていきたいと思います。



私たち の 職場

人工透析センター 胃不全患者さんをトータルで支える

センター2階部門 看護師長 加藤智代

人工透析センターは、平成9年1月に当院が現在の富山市楠木に移転した時に開設しました。ベッド数は10床と小規模ですが、静かな落ち着いた環境で透析を行っています。透析スケジュールは、月・水・金は午前の部と午後の部、火・木・土は午前の部のみ行っています。スタッフは、内科医師1名、臨床工学技士4名、看護師6名です。血液透析のほか、持続緩徐式血液ろ過透析、白血球吸着療法などを行っており、重症の患者さんには病棟やSCUで出張透析を行っています。

腎不全の患者さんは、本来尿中に排泄されるべき尿毒素が体内に蓄積するため、放置すると生死にかかわります。血液透析とは、体内より血液を取り出し機械で血液中の尿毒素を除去する治療で、おおむね週に3回、1回3~4時間程度の時間がかかります。透析治療は長期になります。患者さんにとって有意義な透析生活を送っていただくためには、患者さん自身が適切な食事や生活

習慣について正しい知識をもち、その知識に基づいた生活を送っていただくことが重要となります。そのために透析スタッフは様々な面からサポートさせていただきます。

今年度は新しい透析液供給装置と透析装置を購入しました。患者さんが安全で安心して透析が行えるように、スタッフ一同、日々研鑽していきたいと思っております。



スタッフ(筆者は左から3人目)

夏祭り

リハビリテーション科
理学療法士 佐々木正詞

当院の研修ホールにて「第3回夏祭り」を開催しました。
患者さんやそのご家族、職員の方など200名弱の参加がありました。

缶タワー



積み上げた缶がいつ倒れるか、対戦者、観戦者ともにドキドキしていました。

ストラックアウト



本格的なストラックアウトを手作りしました。子供からお年寄り、車椅子の患者さんも夢中になっておられました。

ヨーヨー釣り



お祭りの定番! ヨーヨー釣りは、患者さんも楽しんでいただけるように工夫し、みなさん童心に戻り楽しんでいただけました。

1円玉落とし



水槽に沈めた容器に、1円玉を落とす単純なゲームでしたが、水中を落ちる1円玉の動きは予想が難しく、みなさん試行錯誤しておられました。

盆踊り



八尾から踊り手さんにお越しいただき、おわら風の盆をみんなで踊りました。

院長も喫茶店でくつろぎ中...

第3回 リハビリテーション科・看護部主催
夏祭り

～ご家族の方もぜひご参加下さい～

プログラム

15時00分	開会の挨拶
16時00分	ビンゴ大会
16時30分	盆踊り
17時00分	閉会の挨拶

出店

- ◇ヨーヨー釣り
- ◇ストラックアウト
- ◇喫茶店(せりー、ジュース、あめ)
- ◇1円玉落とし
- ◇缶タワー

※地下駐車場の各フロアでも楽しめる工夫を随所で行っています

日にち: 8月14日(水)
時間: 午後3時～5時
場所: 研修ホール(2階)

来年も開催予定です。ぜひご参加ください!

NEW FACE PROFILE

新任自己紹介

①氏名 ②所属(配属) ③抱負・自己PR等



イトウ タカフミ
①伊藤貴明
②整形外科医長
③10月より整形外科に勤務することとなりました伊藤貴明と申します。精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。



ノ ムラユラスク
①野村祐介
②内科副医長
③専門施設で研鑽を積んだ大腸内視鏡検査(無送気軸保持短縮挿入法)等を提供していきたいと考えております。宜しくお願い致します。



カワ イシヨンスク
①河合俊輔
②外科医員
③患者さんの状態・希望に合わせ、よりよい医療を提供できるように心掛けております。



イワ ナガタケシ
①岩永健志
②整形外科医員
③整形外科の岩永と申します。ベストを尽くせるよう頑張ります。



オクダ タイイチ
①奥田太一
②看護師
③済生会富山病院で働かせて頂くことになり、大きなヤル気と不安がありますが、理想の看護師となれるよう勉強したいです。



モトナニ
①本谷あてね
②医事課事務員
③患者さんに安心と信頼を与えられる医療事務員になりたいと思います。1日1日を明るく笑顔で頑張りたいです。



サカイ ミサト
①酒井美沙都
②医事課事務員
③医事課で働かせていただく事になりました。たくさん迷惑をおかけすると思いますが元気に頑張ります。よろしくお願い致します。



スズ キュカ
①鈴木有香
②医療クラーク室事務員
③新しい環境に早く慣れ、いろいろなことを吸収して一人前の仕事ができるようがんばります。

済生会富山病院では
無料・低額診療事業を
実施しています

無料・低額診療事業とは、医療費を

減額 免除

できる制度です。

生計困難な方が経済的理由により、
必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、
無料・低額な料金で治療を受けていただく制度です。



例えば このような時にご相談ください

- 病気や障害、失業などで収入がなくなり、
医療費の支払いが困難な方
- 「医療費が払えない」と、治療を受けずに悩んでいる方



利用方法

利用にあたっては、一定の条件がありますので、
まずは医療福祉相談室へご相談ください。
お問い合わせはお電話でもお受けいたします。

相談窓口

医療福祉相談室(1階26番)
TEL 076-437-1111(代)
月～金 9:00～17:00

**毎月第2火曜日に無料・低額診療
相談会を実施しています**

場 所:医療福祉相談室 時 間:9:00～12:00

**相談は
無料です**



理念 患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

基本方針

1. 地域中核病院として、地域に密着した信頼される患者さん本位の医療の提供に努めます。
2. 済生会精神に基づく保健・医療・福祉の総合的なサービスを目指します。
3. 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します。
4. 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療の提供に努めます。
5. 効率的で安定した経営基盤の確立に努めます。

患者さんの権利宣言

本院では“患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供”を基本理念に、患者の皆さんと協同して最良の医療を提供できるよう以下の権利を尊重します。

① 個人としてその人格を尊重される権利

患者さんはひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。

② 質の高い医療を公平に受ける権利

患者さんは、適切で質の高い医療を、公平に継続して受ける権利があります。

③ 十分な情報を知り、説明を受ける権利

患者さんはご自身が受けている医療について知る権利や診療情報の開示を求める権利があります。また、その内容や危険性、他の方法の有無と長所・短所などについて、患者さんが分かる言葉で、十分に理解できるまで説明（インフォームドコンセント）を受ける権利があります。

④ 選択の自由と自己決定する権利

患者さんは、病院や医師を自由に選択し変更する権利と他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。また、分かりやすい説明を受け十分納得された上で、ご自身が検査や医療を選択する権利、あるいは拒否する権利があります。

⑤ プライバシーが守られる権利

患者さんは、ご自身に関する個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。

患者さんには、私たちが良質で安全かつ効率的な医療の提供を実践するために、次のことをお願いします。

- ご自身の自覚症状、病歴や服薬歴などをできるだけ正確に伝えて下さい。
- 診療、療養中におけるご自身の希望を遠慮せずに伝えて下さい。
- 他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたすことがある場合には、ご協力をお願いすることがあります。



済生会富山病院報 くすのきだより

発行者 富山県済生会富山病院
院長 三崎 拓郎

【編集委員会】

井内 和幸 加藤 智代 久保 道也 佐々木 正詞 嶋 作 英 之
下 司 洋 臣 関 岡 綾 子 西 川 和 良 千 代 勇 気 堀 田 裕 子
松 倉 裕 喜 南 沢 宏 川 部 泰 臣 八 十 島 の ど か